

## 東北・関東大震災出動レポート

2011.03/11

- 1446 東北地方太平洋沖・中越地震(M8.8)最大震度 6 強 発生 震源地 三陸沖 深さ 24Km  
(後に東北地方太平洋沖地震 (M9.0)最大震度 7 に修正)
- 1700 緊急待機指示発令 以後随時緊急通信送達 情報収集

2011.03/12

- 0930 出動要員招集。協会事務所にて収集情報に基づき対応を協議  
各地・各団体からの出動情報問い合わせ有り
- ・JKC 災害対策室 大塚室長より当協会に出動待機の依頼あり  
「神奈川から進藤隊が福島県へ、須山隊が宮城県へ早朝出発した」
  - ・石川県危機対策課 より  
「石川広域緊急援助隊は岩手県奥州市へ既に出発した」
  - ・ ジャパンレスキューより
  - ・ 「京都府広域緊急援助隊に同行し南三陸町に向かう」
- 石川アマチュア無線チームその他各団体・個人に後方支援を要請
- 1020 道路事情が不安定のため、2 班に分け、先遣隊が後方に道路情報提供の予定で出発  
第一隊(人員 3 名、救助犬 2 頭、隊長 松平)協会本部出発。目的地福島県  
福島県へ向かった JKC 進藤隊と合流し共同作業を行う予定のため JKC 認定犬 2 頭で編成  
進藤隊長携帯に架電(国道北上中も道路事情悪く途上とのこと、現地到着後来信を依頼、  
ただし、その後電波事情により通信は不通)
- 1130 第 2 隊(人員 6 名、救助犬 5 頭、隊長 北)北陸自動車道森本インター出発  
目的地は JKC とは災害派遣の協定が無い岩手県に向かった石川の緊急援助隊と合流すべく岩手県奥州市  
石川県派遣の人員と共同活動予定のため石川県嘱託災害救助犬で編成。(合流は出来なかった)
- 1330 北陸自動車道新潟より磐越自動車道経由(草川インターより以東は通行止め。但し 1100 以降緊急車両は  
通行可能との情報により前進)
- 1600 東北自動車道(全線通行止め、緊急車両通行可)郡山インターから東北自動車道北上。道路被害多数。  
福島第一原発 1 号機メルトダウン付近通過。  
進藤隊と連絡不能なため須山隊に連絡し、宮城県仙台市に目的地変更
- 1800 仙台・宮城インターより宮城県庁 2F 総合災害対策本部入り、対策本部長に到着の報告、須山隊(2 名、2 頭)  
と合流。  
神奈川の須山相談役から受信。ヘルメット、手袋、マスク、ゴーグル等着用し肌の露出が無いように助言有り。
- 1830 関係各方面に到着報告。今後の対応を協議。現時点で対策本部では情報錯そうし、搜索箇所不定。  
災害対策本部にて本部、自衛隊、海上保安庁等より情報収集。本部にて待機。交代で休養をとる。

2200 救助隊等救援ヘリコプター(海保、国交省、自衛隊、計 42 機)気仙沼～山元町

緊急消防援助隊 1 都 1 府 6 県、206 隊(876 人)

災害救助犬チーム 4 隊

2400 救助活動件数 集計中につき不明とのこと

## 2011.03/13

0400 到着以降、余震頻発最大震度 6.

宮城県警察本部、消防本部、仙台市役所災害対策本部、仙台市青葉区役所災害対策本部にて情報収集

0500 夜明けより市内周辺から海岸部に向け捜索開始を決定。福島県は白河で捜索実施予定との情報

0600 宮城県警察合同救助犬チームは警察学校より出動、太白区周辺から捜索開始。宮城野区近づけず。

本夕、ニュージーランド隊 65 名と救助犬到着し、三沢基地より投入との情報。

0900 福島原発 3 号機メルトダウンの可能性高いとの情報有り、協議の結果捜索活動は中止し、帰投を判断。

奥州市隊にも帰投指示。

JKC 須山隊とは以後連絡不通。自宅に架電、須山相談役に伝達。各方面に帰投の連絡、帰途につく。

1630 全員帰着。待機継続。

## 2011.03/14

1000 緊急活動解除。行動終了した。ただし、余震災害に備えて第 2 次待機を要請。